

第4回中部 MIST 研究会 プログラム



会 期:2015(平成 27)年 9 月 12 日(土) 13:30～
(受付:13:00 開始)

会 場:富山県民会館 304 号室

〒930-0006 富山県富山市新総曲輪 4 番 18 号

参加費:1,000 円(税込)

共 催:中部 MIST 研究会、日本イーライリー株式会社

日整会単位取得予定の先生は、日整会会員 IC カードをお持ちください

プログラム

13:30

開会のご挨拶

中野 正人

13:35~14:15

コメディカルセッション

座長

中野 恵介

C-1. XLIF における ALLEN SPINAL SYSTEM の活用

医療法人蜂友会 はちや整形外科病院 手術室 丹羽 雄二

C-2. 各 PPS システムにおけるモニタリングの有用性 -インストルメントの電気抵抗の測定-

高岡市民病院 臨床工学技士科 二山 高志

C-3. MISt における脊髄神経モニタリング

名古屋第二赤十字病院 医療技術部生体検査課 近藤 規明

C-4. 低侵襲脊椎手術時における放射線被ばくについて

医療法人蜂友会 はちや整形外科病院 検査部放射線科 阿部 貢樹

C-5. 低侵襲脊椎手術時における術中透視操作について

医療法人蜂友会 はちや整形外科病院 検査部放射線科 山田 隆徳

14:15~15:15

ドクターセッション①

座長

水野 勝則

D-1. パーキンソン病に伴う腰椎変性側弯症に対し矯正固定術を行った1例

金沢大学 整形外科・脊椎脊髄外科 吉岡 克人

D-2. パーキンソン病に伴う腰椎変性側弯症に対して前後合併矯正固定術後、隣接椎間障害をきたした1例

富山大学医学部 整形外科 亀井 克彦 他

D-3. 長期透析患者における腰椎破壊性脊椎関節症に対する XLIF の治療経験

名古屋第二赤十字病院 整形外科・脊椎脊髄外科 松井 寛樹 他

D-4. 人工骨(β -TCP)を用いた oblique lumbar interbody fusion (OLIF)術後の visual analogue scale(VAS)変化

高岡整志会病院 整形外科 田中 直

D-5. OLIF における術中 O-arm 画像の検討

高岡整志会病院 整形外科 澤田 利匡

D-6. CBT 法を用いた腰仙椎後方椎体間固定術の治療成績

名古屋市立西部医療センター 整形外科 早川 高志 他

D-7. ME-MILD 法の経路から設置した CBT スクリューの CT による術後評価

稲波脊椎・関節病院 湯澤 洋平

15:15~15:25

休憩

15:25～16:05

ミニレクチャー

座長

宮本 敬

M-1. 腰椎変性疾患に対する CBT のコツと Pitfall

名古屋市立西部医療センター 整形外科・脊椎センター 稲田 充

M-2. 腰椎変性疾患に対する XLIF の神髄

医療法人蜂友会 はちや整形外科病院 蜂谷 裕道

16:05～17:00

ドクターセッション②

座長

出村 諭

D-8. びまん性特発性骨増殖症(DISH)における椎体骨折に対して PPS にて固定した1例

市立砺波総合病院 整形外科 高木 泰孝 他

D-9. 脊椎骨折に対する MIStにおける PPS およびスクリュードライバーを用いた骨折整復の試み

富山県立中央病院 整形外科 笹川 武史

D-10. 胸腰椎破裂・脱臼骨折に対する最小椎間固定をめざした脊椎固定術

岐阜市民病院 整形外科 宮本 敬

D-11. 頸椎椎弓形成術低侵襲の試み

聖隷浜松病院 セボねセンター 吉水 隆貴

D-12. 術中バンコマイシン散布は術後創部感染を減らすことができるか？二重盲検ランダム化比較試験

愛知医科大学 脊椎脊髄センター 竹内 幹伸

D-13. X-core の使用経験

名古屋市立大学 整形外科 大塚 聖視

D-14. 側臥位で挿入する PPS とその支援機器

みどりヶ丘病院 脊椎脊髄外科センター 成田 渉

17:05～17:15

休憩

17:15～18:15

特別講演

座長

中野 正人

S-1. 腰椎変性疾患の治療戦略 ※日本整形外科学会教育研修単位取得可能(07 脊椎・脊髄疾患)

慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 石井 賢

18:15

共催者ご挨拶（日本イーライリリー株式会社）

荒木 健

18:20

優秀演題賞発表

中野 正人

18:25

閉会のご挨拶

高津 哲郎

18:30

終了

懇親会ご出席の方は、終了後リバートリート雅楽倶へバス移動いたします。

参加者のみなさまへ

- 受付にてお名前、ご所属先を芳名帳にご記入のうえ、参加費 1,000 円をお支払いください。
- 日整会単位受講証明書をご希望の方は、1,000 円をお支払いください。
- 日本 MISt 研究会の入会も受け付けております。入会ご希望の方は、所定の入会申込書に必要事項をご記入のうえ、受付にご提出ください。後日事務局より登録完了のメールを送信いたします。申込書ご提出から 1 週間経過しても登録完了メールが届かない場合には、事務局
(TEL : 052-751-8197 E-mail : mist_central@hachiya.or.jp) までご連絡ください。

発表規定

- 今回の発表は PC によるプレゼンテーションのみといたします。その他スライド、ビデオ等は使用できません。スクリーンは 1 面です。
- ご発表予定の方につきましては、事前のプレゼンデータ確認を推奨しております。13 : 00 頃までに会場へお越しいただき、発表用 PC にてデータ確認をお願いいたします。
- 発表用 PC は Office2010 をご用意いたします。
- メディアにて発表データをご準備いただく場合、メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、ウイルス駆除ソフトにてチェックしたものをご準備くださいますようお願いいたします。
- 発表データに動画・音声ファイルがある場合、また Macintosh をご使用の場合には、ご自身の PC をご使用ください。 Macintosh 等、プロジェクタとの接続にディスプレイアダプタを必要とする PC をご使用の場合は、必ずディスプレイアダプタをお持ちください。
- 演題発表時間は特別講演 50 分+質疑応答 10 分、ミニレクチャー15 分+質疑応答 5 分、ドクターセッション、コメディカルセッション 5 分+質疑応答 3 分です。
- セミナーの円滑な進行の為、ご発表は時間厳守にてお願いいたします。
- ドクターセッション、コメディカルセッションの中からそれぞれ 1 名に優秀演題賞を授与いたします。

ご協賛いただいた企業様

- 株式会社エム・エム・ティー
- 小野薬品工業株式会社
- ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 デピューシンセス・スパイン事業部
- ジンマー株式会社
- 日本ストライカー株式会社
- セントラルメディカル株式会社
- ニューベイシブジャパン株式会社
- HOYA Technosurgical 株式会社
- 村中医療器株式会社
- 株式会社ロバート・リード商会

(五十音順)

ご協力いただき誠にありがとうございました